



2024年12月26日

各 位

コンパス・キャピタル株式会社との蓄電池事業連携に関するお知らせ

当社は、アジア3大金融センターで不動産事業を行っているコンパス・キャピタル株式会社(以下、「コンパス・キャピタル社」といいます。)と連携し、蓄電池事業を共同推進することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 事業連携の背景

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っており、暗号資産関連の事業についても新たな収益の柱として成長させていくことを企図しております。

また、当社は、エムケイドットエックス社と連携し、EV充電施設事業に関する企画に関しても計画をしており、今後は当社子会社であるGCM S1証券を通じて、AIデータセンター事業への投融資についても積極展開することを考えております。

2. コンパス・キャピタル社について

コンパス・キャピタル社は、香港、シンガポール、そして東京の3拠点で不動産事業を展開する法人であり、数十億円から数百億円規模のアセットマネジメント、不動産私募発行支援など、幅広く金融サービスを提供しています。

今回、当社グループがAIデータセンター事業を支援するにあたり、蓄電池事業をEV充電施設事業に拡張させることで、AIデータセンターの送電設備の一部を活用することができ、また事業シナジーも期待できることから、豊富な資金力を有するコンパス・キャピタル社に相談をしたところ、今般の連携にも至っております。

3. 事業連携の内容

当社は、エムケイドットエックス社の展開するEV充電施設事業の状況などから、相応のニーズが拡張される時期において、蓄電池施設及び蓄電池事業を推進することで、両社にシナジーがあると考えております。

コンパス・キャピタル社は、中華系の豊富な資金力を有しており、豊富なファンド組成実績があると同時に、蓄電池事業に適した不動産情報にも精通していることから、当社は事業運営主体の一部として支援を行い、コンパス・キャピタル社は不動産ファイナンス（ファンド）のストラクチャーアレンジメントを通じた資金調達支援を行っていきます。

エムケイドットエックス社はEV 充電池事業におけるエンドユーザーへのマーケティング支援を行い、当社子会社である GCM S1 証券が主体としたファンド組成を通じ、AI データセンターの事業拡張を図っていきます。

また、AI データセンター事業の運営と並走して行うことでマネタイズがしやすいことから、国内外で注目を集める系統蓄電池（※発電所等に直接接続し貯めた電力を市場に売却することが可能な、中長期的投資としても活用できる蓄電池）に特化したファンドも共同で組成していく予定です。

当社グループとしては、当該蓄電池事業を通じまして、当社、GCM S1 証券、エムケイドットエックス社、投資先 AI データセンター事業主体者、コンパス・キャピタル社が共同で収益が得られるよう、アレンジを含めてこの座組を具体化していく予定です。

当該事業の取り組み条件等の詳細につきましては、確定次第、適時お知らせしていきます。



■コンパス・キャピタル株式会社：<http://www.cmpscap.com/>

コンパス・キャピタル・グループのメンバーは不動産マーケットにおいて豊富な経験とリーダーシップを持ち、個人投資家から機関投資家までの幅広い顧客層を対象に、既存の収益物件及び開発案件に関しての投資コンサルティング業務、トランザクション支援及びアセット・マネジメント業務など、一連の不動産投資関係のサービスを提供しています。

住所：東京都千代田区九段南 1-6-5 九段会館テラス 1F

事業概要：クロスボーダー不動産投資コンサルティング、新築マンション投資・販売代理

以上